



平成 19 年 5 月 16 日

各 位

東京都品川区東品川四丁目 12 番 8 号  
株式会社 S J ホールディングス  
代表取締役社長 李 堅  
( J A S D A Q ・ コード 2 3 1 5 )  
問い合わせ先：財務経理部長 近衛 伸賢  
0 3 - 5 7 8 1 - 7 3 1 1 ( 代表 )

## 平成 19 年 3 月期決算短信の補足説明について

平成 19 年 5 月 15 日発表の「平成 19 年 3 月期決算短信」について、以下のとおり補足説明いたします。

### 記

#### P5 次期の見通し

平成 20 年 3 月期の日本経済は、アメリカ経済の減速の影響、一部の分野での高水準の在庫率等、懸案事項はあるものの、金融環境の利上げスピードも緩やかに留まると見込まれることに加え、企業部門における旺盛な設備投資需要に下支えされ、内需主導の自律的な成長が続くものと見込まれております。

情報サービス業界においても、昨年度より継続している高水準の I T 投資の恩恵を受け、業績は回復基調にあるものと考えております。

当社におきましては、国内においては以下の戦略を推進してまいります。

- 1 S J グループ独自の日中「分散開発モデル」の継続的拡大
- 2 前年に引き続き需要が期待されている S I ベンダーへの I T エンジニアリング・サービスの提供による安定的成長

また、中国においては、以下の戦略を推進してまいります。

- 1 日本向けシステム開発の継続的成長に向けての営業強化、及び大幅な増員の実現
- 2 中国の高成長企業（通信、電力、金融および公共）向け S I ビジネスへの経営資源の集中
- 3 一昨年連結子会社化した、I T 関連機器製造・販売会社の運営を軌道に乗せる段階から、より一層の成長戦略への舵取り

これらの施策により、前期末に実施したアルファテック・ソリューションズ株式会社及び中国の福州十方文化传播有限公司グループの連結子会社からの除外による減収要因をカバーすることに努めることとし、平成 20 年度の連結売上は 29,354 百万円（前年比 16.7%減）、経常利益は 2,852 百万円（前年比 21.1%増）にて計画しております。

今後とも需要増が期待される日中におけるシステム開発業務での競争力の更なる強化、高成長の維持を図るため、中国・日本において技術者の採用、教育および同業他社との業務提携・資本提携などを推進してまいります。

平成 20 年 3 月期の通期業績見通しは、以下のとおりです。

連結業績予想

(単位：百万円)

	中間期		通期	
		前期比		前期比
売上高	12,255	22.3%	29,354	16.7%
営業利益	910	13.1%	2,989	25.3%
経常利益	852	3.4%	2,872	21.1%
当期純利益	537	23.3%	1,701	25.8%

単独業績予想

(単位：百万円)

	中間期		通期	
		前期比		前期比
売上高	612	5.2%	1,126	4.1%
営業利益	346	3.3%	599	13.6%
経常利益	285	4.6%	473	11.5%
当期純利益	215	25.3%	393	0.2%

P55 (企業結合等関係)

決算短信における開示の必要性が大きいと考えられるため、記載を省略いたしております。

以上